

令和2年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（全体）

鳥羽市地域公共交通会議

平成20年5月28日設置

フィーダー系統	令和元年6月24日	確保維持計画策定等
離島航路	令和元年6月24日	確保維持計画策定等

直近の二次評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
地域の高校生と連携した高校生視点での観光資源の発掘や観光施設・飲食店等との意見交換による観光誘致企画の発案などの取り組みを行っている。	新型コロナウイルス感染症の影響により当該事業が遅れ、完成に至らなかった。	引き続き高校生と連携しバス旅行企画の完成に向け取り組む。また完成後は、離島編の旅行企画に取り組む予定である。
観光マップと連携した「かもめバス周遊マップポスター」を作成することにより、観光客に対する利用促進を行っている。	かもめバスの各種割引制度をはじめ、本市のコミュニティ交通システム路線図、バスの乗り方及び運転免許証自主返納支援制度支援のほか、観光マップに各路線のバス停を図示した「かもめバス路線案内」を作成した。	鳥羽バスセンター及び観光案内所に設置するほか、高齢者等を対象としたバスの乗り方教室開催時に配布し周知するなど利用促進に努める。
今後も観光客、住民双方に対する効果的な情報発信等により利用促進を行うことを期待。	バスの日にあわせ広報誌でバスの乗り方をはじめ、各割引制度及び運転免許証自主返納支援制度の周知を行った。また、グーグルで路線検索（定期船含む）が可能となる「時刻表の見える化」に取り組んだ。	高校生と連携して作成中のバス旅行企画について、マスコミへの情報提供及び市ホームページ等で情報発信を行い利用促進に努める。

鳥羽市の概要

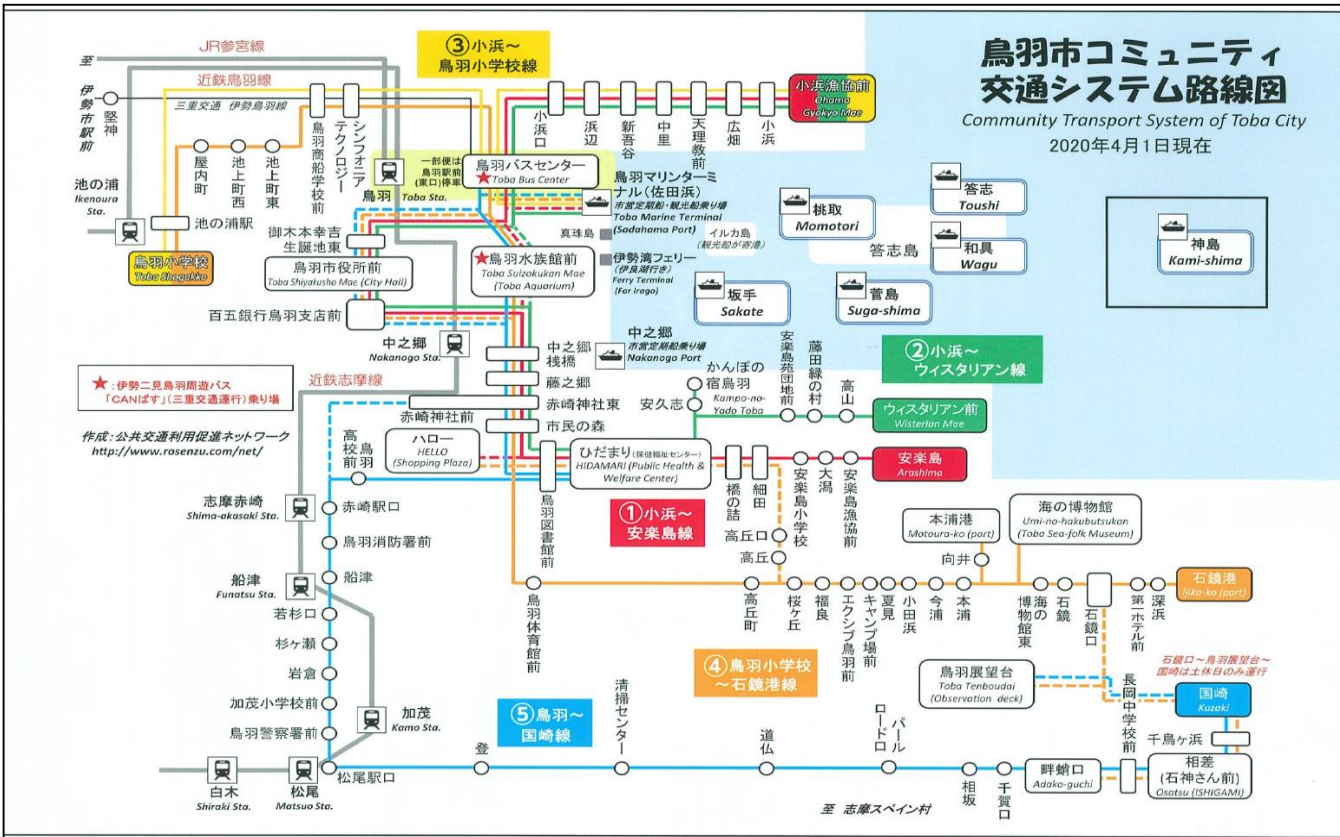
本市は4つの有人離島があり、多様な公共交通手段を有しています。伊勢志摩地域最大の宿泊地であり、各種観光施設もあることから、観光客の公共交通利用も見られます。コミュニティバス「かもめバス」及び市営定期船は、市民の生活と直結するため市が運営していますが、運賃だけでは運行（運航）が維持できないため、国または県の財政支援を受けながら市の一般財源を補填しています。

鳥羽市地域公共交通網形成計画

基本的な方針：地域の活性化に寄与する「鳥羽市コミュニティ交通システム」の確立を目指す。

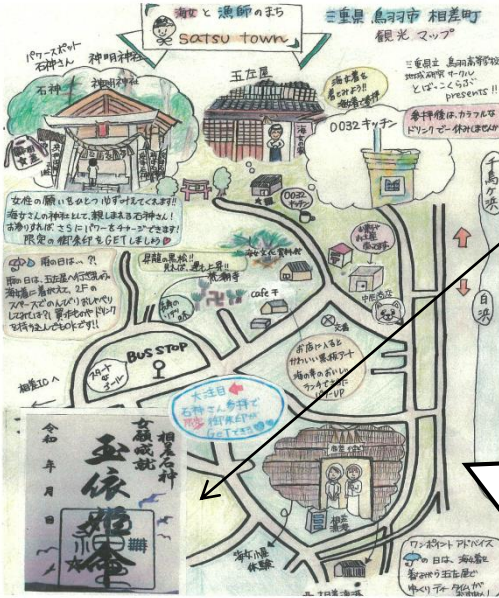
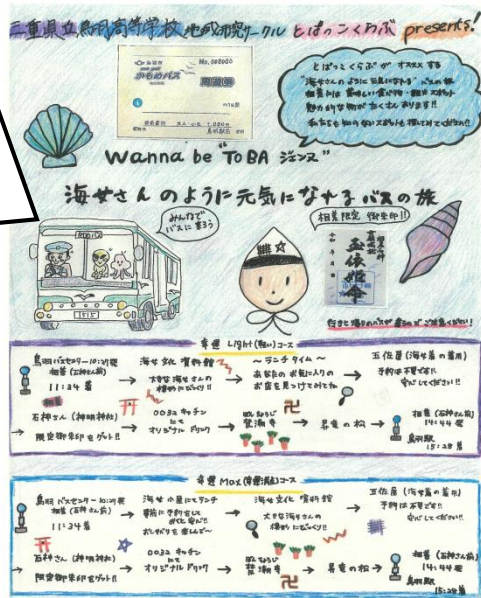
目標

- 1.ニーズに合った交通体系の充実
- 2.交通結節点の改善強化
- 3.経営の健全化
- 4.観光振興に寄与する交通サービス
- 5.安全・安心な交通



主な事業		概要及び状況
かもめバス	バス運行事業	・鉄道路線が存在しない地域について、日常生活の移動手段及び観光における移動手段の確保
市営定期船	定期航路事業	・島民の日常生活及び観光における移動手段の確保のため、他の交通手段と連携したダイヤで運航
共通	観光イベント事業	・市内の高校と連携し、高校生発想のプランを企画
	かもめバス・市営定期船 広報事業	・鳥羽市コミュニティ交通システム路線図の作成 ・各離島待合所の行先表を4か国語表記に改修

新型コロナウイルスの影響により商品化は未実施。観光客が多く利用するため、令和2年度内でのプラン実現に向け調整中。



かもめバス周遊券の利用で限定御朱印を拝受できます。

高校生による手書きのパンフレットを作成

自己評価を行った会議：鳥羽市地域公共交通会議（令和2年12月4日開催）

評価指標	数値目標	実績	達成状況	課題・今後の方針
乗継割引券 利用枚数	6,000枚	8,413枚	○達成 離島内の店舗が減少した ことに伴い買い物での利 用者が増加した	①観光部署等と連携 し周遊券（バス・定 期船）を利用したモ デルコースを作成し P Rを行う ②高齢者や運転に不 安を感じている方を 対象としたバスの乗 り方教室を開催し利 用促進を図る ③高校生発想の旅行 企画（離島編）の作 成及びP Rを行う
公共交通 利用者数	かもめバス 250千人 市営定期船 731千人	かもめバス 163千人 市営定期船 473千人	×未達成 新型コロナウイルスに伴 う外出自粛等により利用 者が減少したため、目標 に至らず	
周遊券 発券枚数	かもめバス 9,700枚 市営定期船 1,600枚	かもめバス 5,080枚 市営定期船 1,334枚	×未達成 観光客の増加が見込まれ るゴールデンウィーク等 が新型コロナウイルスの 影響により減少したため、 目標に至らず	
ハッピー チケット 販売枚数	5,500枚	5,422枚	×未達成 大型商業施設での販売は 横ばいであったが、目標 に至らず	

①バス及び定期船を利用した観光のPR

引き続き地域の高校生と連携し公共交通を利用した旅行企画の作成に取り組むとともに情報発信を行い利用促進に努める。

観光部署等と連携し周遊券（バス・定期船）を利用したモデルコースを作成しPRを行う。

②高齢者等の利用促進

「かもめバス路線案内」を活用しバスを身近に感じてもらえるよう高齢者及び運転に不安を感じている方を対象にバスの乗り方教室を開催する。

新たに高等学校へ進学する生徒を対象に定期券による通学を推奨する。

③地域公共交通計画の作成

地域公共交通活性化再生法の改正に伴い、鳥羽市地域公共交通計画を策定中である。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 2年12月 4日

協議会名: 鳥羽市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
【補助対象となる事業者 名等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名、運行(航)区間、整備 内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業に おいて、車両減価償却費等及び公有民営方式車 両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている 場合、離島航路に係る確保維持事業において離 島航路構造改革補助(調査検討の経費を除く。)を を受けている場合は、その旨記載)】	【事業評価の評価対象期間 において、前回の事業評価 結果をどのように生活交通 確保維持改善計画に反映さ せた上で事業を実施したか を記載】	A ・ B ・ C 評 価	【計画に基づく事業が適切に実 施されたかを記載。計画どおり実 施されなかった場合には、理由 等記載】	A ・ B ・ C 評 価
三重交通㈱	小浜・鳥羽小学校線 第1系統 小浜漁協前～鳥羽小学校区間	・外国人を含めた観光客等 に公共交通の利用促進を図 るため、グーグルで路線検 索(定期船含む)が可能とな る時刻表の見える化に取り 組んだ。 ・かもめバスの各割引制度、 本市のコミュニティ交通シ ステム路線図、バスの乗り方 及び運転免許証自主返納制 度支援のほか、観光用のイ ラストマップに各路線のバス 停を図示した「かもめバス路 線案内」を作成し、ホーム ページに掲載するほか、鳥 羽バスセンター等に設置す るなどバス利用者の拡大に 努めた。	B 計画に基づく事業については、 一部新型コロナウイルスの影響 により実施できない事業もあつた が、他の事業は適切に実施され た。	鳥羽市地域公共交通網形成計 画における数値目標は、下記のとおりです。 記 かもめバス乗車人数250千人／ 年 乗継割引券利用枚数6,000枚 周遊券券売枚数9,700枚 ハッピーチケット発券枚数5,500 枚	・観光部署と連携し周遊券の利用促進 を図るためモデルコースを作成する。 ・新型コロナウイルス感染予防対策を 継続するとともに、安心・安全に乗船で きることを市ホームページ等で周知す る。 ・今後、増加する高齢者の移動手段を 確保していくため、新たに作成した「か もめバス路線案内」を活用し、町内会及 び老人クラブ等に赴き「バスの乗り方教 室」を開催する。 ・取組中である「公共交通を利用した高 校生発想の旅行企画」を完成させ、市 のホームページに掲載するほか、鳥羽 バスセンター及び観光案内所に等に設 置し観光客の増加を目指す。 ・新たに高等学校へ進学する生徒を対 象に定期券による通学を推奨する。 ・運転免許証自主返納支援制度の周知 を図るため、引き続き広報誌等に掲載 する。
三重交通㈱	小浜・安楽島線 第2系統～第11系統 小浜漁協前～鳥羽安楽島区間	また、高齢者の方にも見や すいように、文字を大きくした 時刻表を作成した。 ・バスの乗り方教室を開催す る予定であったが、新型コロ ナウイルスの影響により開 催できなかった。このため、9 月20日のバスの日に合わ せ、バスの乗り方、運転免許 証自主返納支援制度及び各 割引制度等を広報誌9月1 日号に掲載し周知すると同 に、バスの利用促進に努め た。		・かもめバスの利用者は、 163,002人で、新型コロナウイルス 感染防止対策に伴う外出自粛 及び臨時休校等の影響により、 地域住民及び観光客の利用者 が減少したため、目標の250,000 人を達成することができなかつ た。	
三重交通㈱	小浜・ウィスタリアン線 第12系統～第14系統 小浜漁協前～ウィスタリアン前区間	・市内の高等学校及び地域 団体と連携した「公共交通を 利用した高校生発想の旅行 企画」を作成し、観光客の利 用増加を目指したが、新型コ ロナウイルスの影響により同 旅行企画の作成に至らな かったため、次年度も継続し て取り組む。		・乗継割引券利用枚数は8,413枚 で、利用枚数は減少したもの、 目標の6,000枚を達成することが できた。	
三重交通㈱	鳥羽・国崎線 第15系統～第28系統 鳥羽バスセンター～国崎間			・周遊券販売枚数は5,080枚で、 観光客の増加が見込まれるゴー ルデンウィーク等が新型コロナウ イルスの影響により、大幅に減 少したため目標の9,700枚を達成 することができなかった。	
三重交通㈱	鳥羽小学校・石鏡港線 第29系統～第53系統 鳥羽小学校～石鏡港区間			・ハッピーチケット販売枚数は 5,422枚で、ショッピングプラザで の販売は横ばいであったが、他 所の販売が減少したため目標の 5,500枚をわずかに下回った。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 2年12月 4日

協議会名: 鳥羽市地域公共交通会議

評価対象事業名: 離島航路

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
【補助対象となる事業者 名等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名、運行(航)区間、整備 内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業に おいて、車両減価償却費等及び公有民営方式車 両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている 場合、離島航路に係る確保維持事業において離 島航路構造改革補助(調査検討の経費を除く。)を 受けている場合は、その旨記載】	【事業評価の評価対象期間 において、前回の事業評価 結果をどのように生活交通 確保維持改善計画に反映さ せた上で事業を実施したか を記載】	A ・ B ・ C 評価	【計画に基づく事業が適切に実 施されたかを記載。計画どおり 実施されなかった場合には、理 由等記載】	A ・ B ・ C 評価
鳥羽市	鳥羽～神島航路 鳥羽～離島4島間の運航	・外国人を含めた観光客等に公共交通の利用促進を図るため、グーグルで路線検索(定期船含む)が可能となる時刻表の見える化に取り組んだ。 ・外国人観光客に対応するため、各離島の待合所における時刻表の行き先を4か国語表記に改修した。 ・周遊券の利用者拡大を図るため、引き続き旅行代理店が作成するパンフレットに掲載し、離島観光の誘客を図った。 また、離島での食事に関するパンフレットをホームページに掲載し利用促進を図った。 ・市内の高校生と連携し「公共交通を利用した高校生発想の旅行企画(離島編)」の作成に向け取り組む予定であったが、新型コロナウイルスの影響により取り組むことができなかった。	B	計画に基づく事業については、一部新型コロナウイルスの影響により取り組むことができない事業もあったが、他の事業は適切に実施された。	鳥羽市地域公共交通網形成計画における数値目標及び達成状況は、下記のとおりです。 記 市営定期航路乗船人数 731千人/年⇒472千人/年内訳 答志航路250千人⇒168千人 菅島航路134千人⇒72千人 神島航路51千人⇒33千人 坂手航路101千人⇒70千人 桃取航路193千人⇒129千人 周遊券発券枚数1,600枚⇒1,334枚 B 離島人口の前年度比は96.1%(H31.9月末3,188人⇒R1.9月末3,063人) ・輸送人員の総数は473千人で、新型コロナウイルス感染防止対策に伴う外出自粛及び臨時休校措置等の影響により離島住民の利用が減少したため、目標の731千人を達成することができなかった。 ・各航路別の乗船人数についても目標を達成することができなかった。 ・周遊券の利用者は1,334人で、目標の1,600人を達成することができなかった。 ・新型コロナウイルス感染予防対策を継続するとともに、安心・安全に乘車できることを市ホームページ等で周知する。 ・観光部署と連携し周遊券の利用促進を図るためモデルコースを作成する。 ・市内の高校生と引き続き連携し「公共交通を利用した高校生発想の旅行企画・離島編」の作成に向け取り組むとともに、旅行代理店が発行するパンフレットに周遊券の情報を掲載し観光客の誘客を図る。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和 2年12月 4日

協議会名：	鳥羽市地域公共交通会議
評価対象事業名：	鳥羽市生活交通確保維持改善計画（地域内フィーダー系及び離島航路）
地域の交通の目指す姿 （事業実施の目的・必要性）	【鳥羽市地域公共交通網形成計画】 ■基本的な方針 鳥羽市は、近鉄・JR・路線バス・市営定期船・伊勢湾フェリー・タクシーなどといった多様な交通手段を有する。一方、需要面では、市民生活交通及び市の主要産業のひとつである観光に伴う交通がある。 鳥羽市地域公共交通会議では、鳥羽市の各種計画と連携し、鳥羽市民の生活に密着し、地域間の連携や一体感を生み出し、また鳥羽市を訪れる観光客のニーズに対応することで、地域の活性化に寄与する「鳥羽市コミュニティ交通システム」の確立を目指している。 ■計画の目標 I 地域の特性や市民・利用者ニーズに合った交通体系の充実 II 路線・手段間の結節の改善・強化 III 経営の健全化に向けた運行（運航）の効率化 IV 観光振興に寄与する交通サービスの提供 V 安全・安心な交通への備え ■計画目標の実現に向けた取り組み 鳥羽市コミュニティ交通システムにおいて中核を担う「かもめバス」及び「市営定期船」につきましては、全路線・全船航路が国並びに県の補助金の交付を受けながら、安全で安心な運行（運航）を行うとともに、経営の健全化及び効率化などの目標の実現に向けて取り組んでいます。